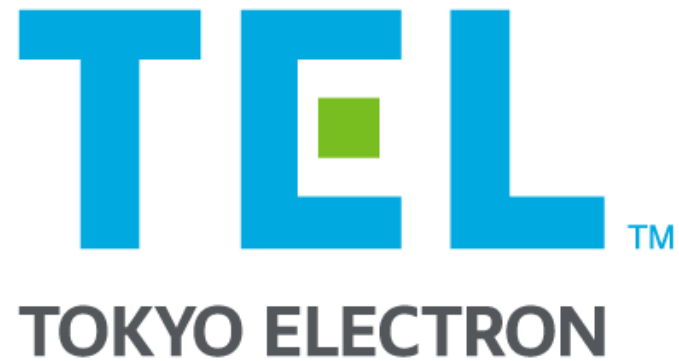


第57期 定時株主総会



2020年6月23日

第57期 業績報告

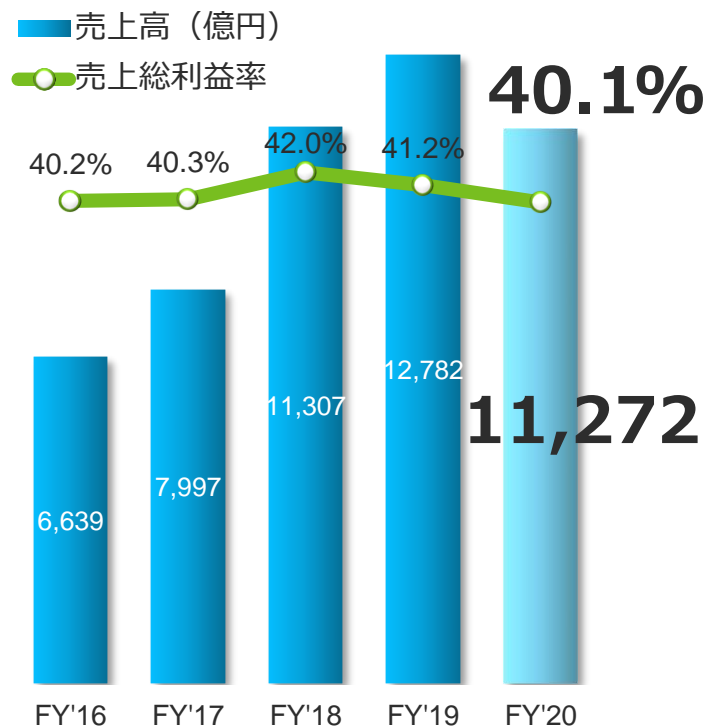
連結損益計算書

	第56期 (%)		第57期 (%)		増減	(億円)
売上高	12,782	100.0	11,272	100.0	△1,509	
売上総利益	5,261	41.2	4,519	40.1	△742	
営業利益	3,105	24.3	2,372	21.0	△732	
経常利益	3,216	25.2	2,449	21.7	△766	
税引前利益	3,215	25.2	2,446	21.7	△768	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,482	19.4	1,852	16.4	△630	

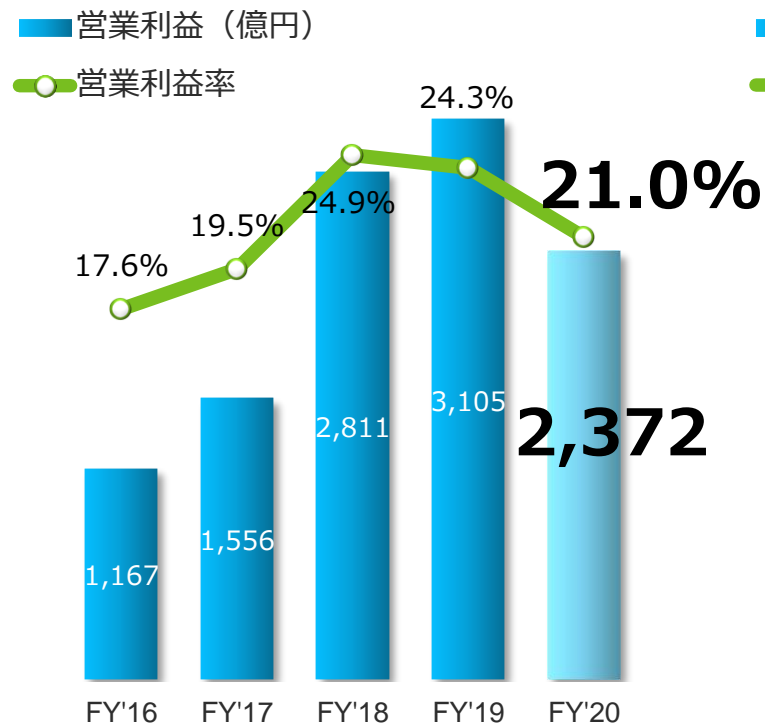
業績は計画を上回って着地。売上、利益とも目標を達成

5年間の業績推移

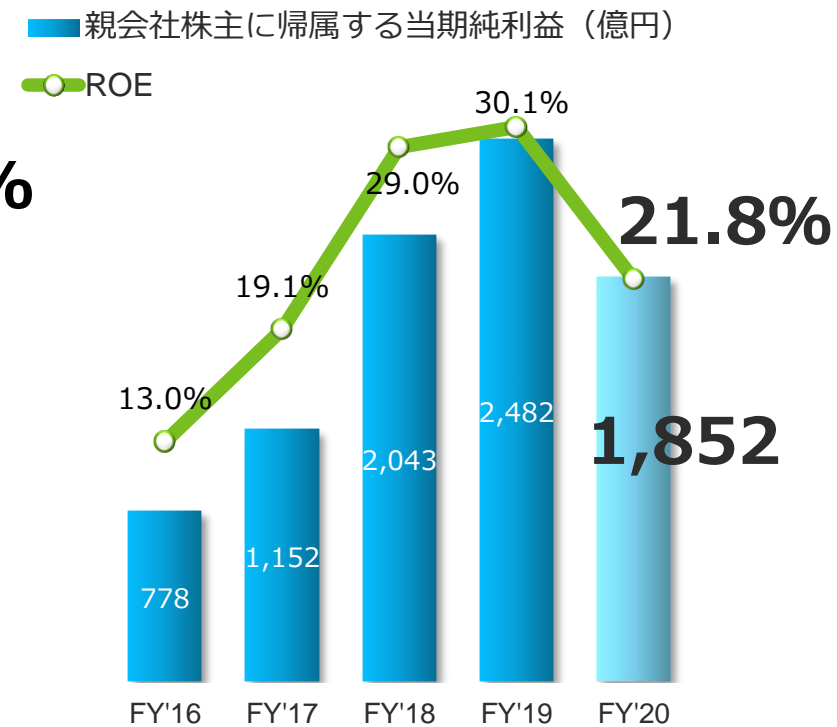
売上高と売上総利益率



営業利益と営業利益率



親会社株主に帰属する 当期純利益とROE



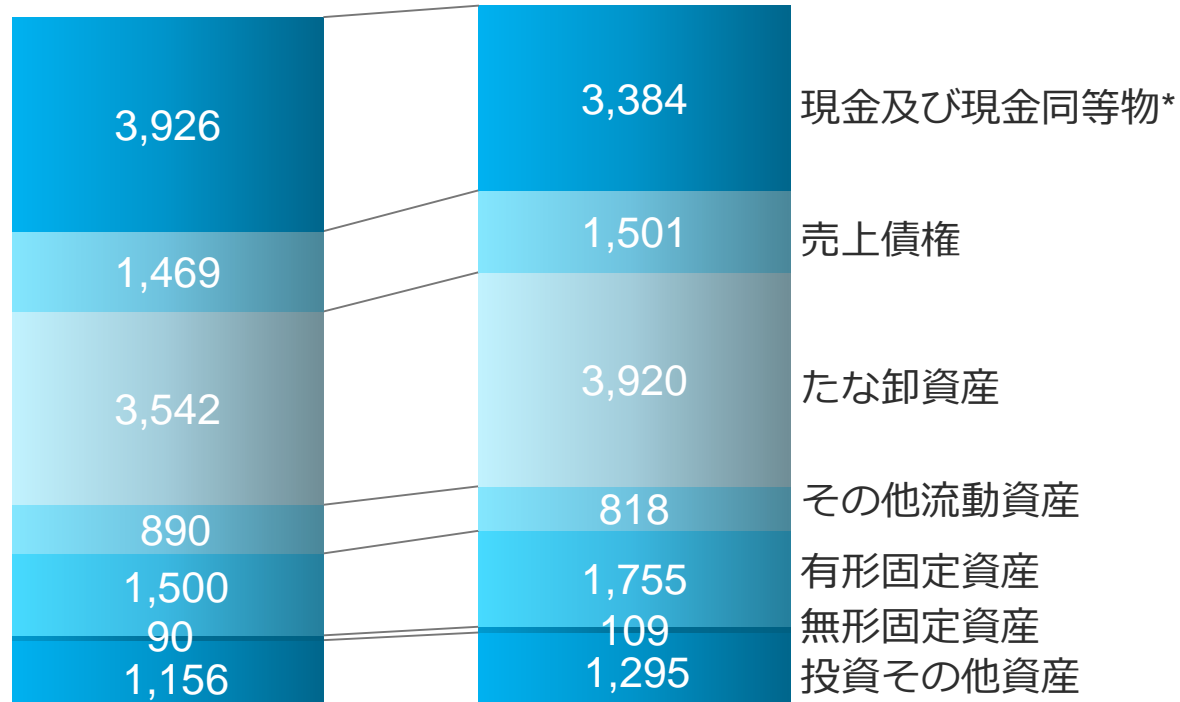
過去最高となる1,202億円の研究開発投資を実施
売上高1兆円、営業利益率20%以上を3期連続で達成

連結貸借対照表

資産

12,576億円

12,784億円



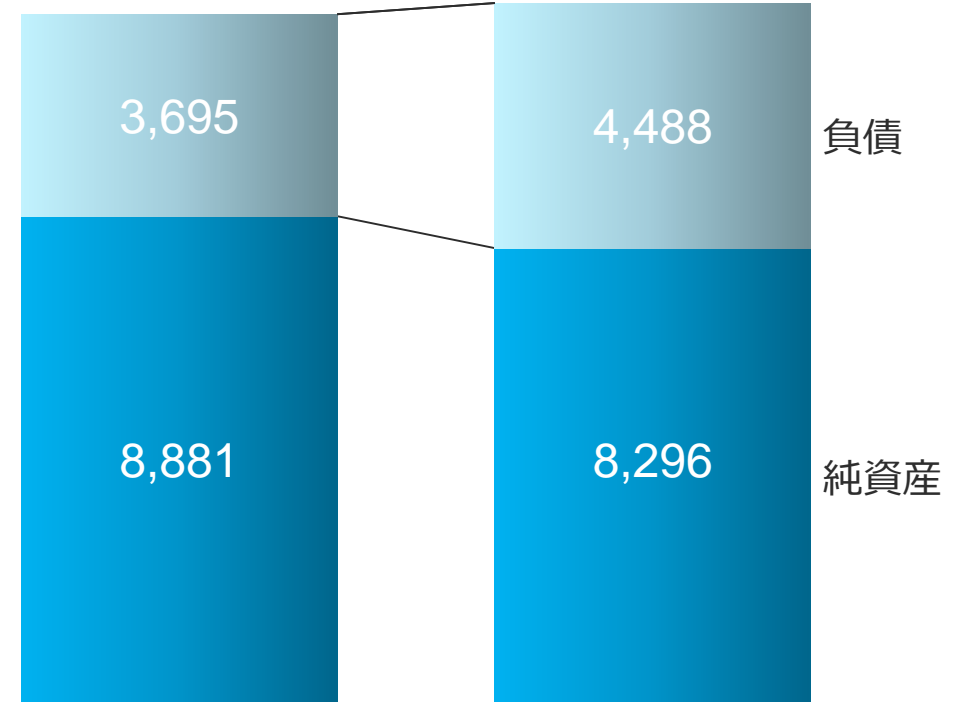
第56期

第57期

負債・純資産

12,576億円

12,784億円



第56期

第57期

*定期預金 + 短期投資等（貸借対照表上の表示は有価証券）を含む

単独財務諸表の概要

■ 損益計算書

	第56期 (%)		第57期 (%)		増減	(億円)
売上高	11,584	100.0	10,294	100.0	△1,290	
営業利益	1,462	12.6	1,017	9.9	△445	
経常利益	3,526	30.4	2,097	20.4	△1,429	
税引前利益	3,596	31.0	2,097	20.4	△1,498	
当期純利益	3,127	27.0	1,775	17.2	△1,352	

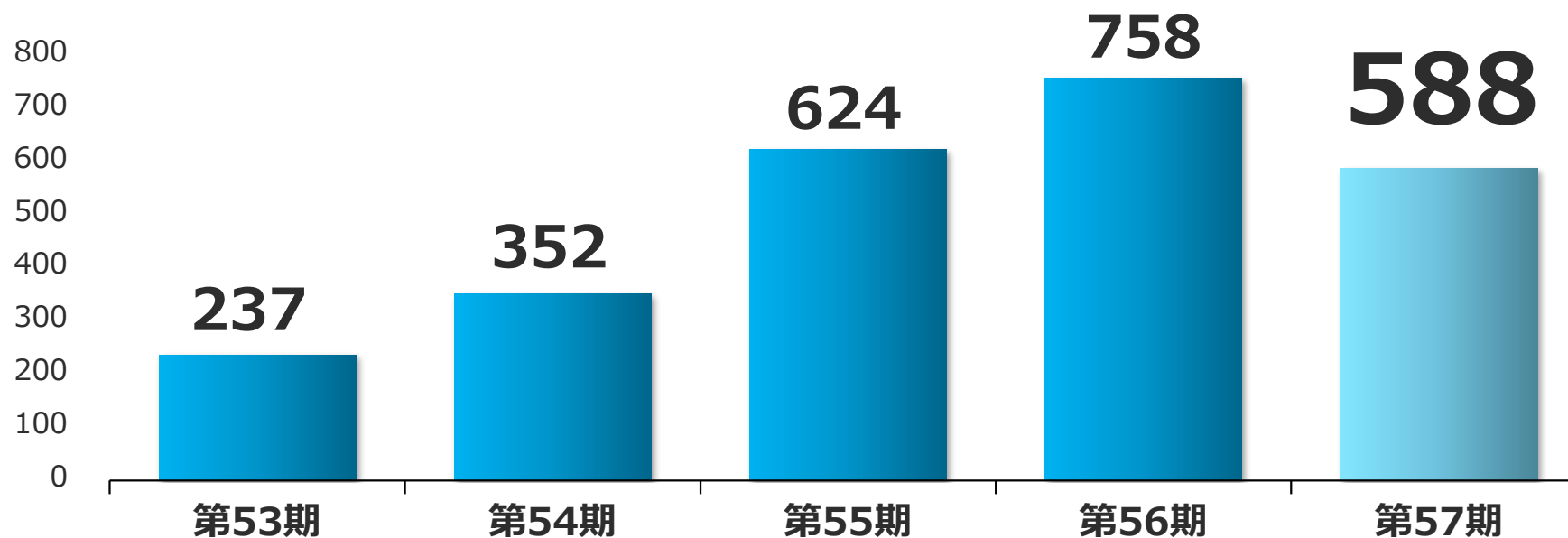
■ 貸借対照表

	第56期 (%)		第57期 (%)		増減
資産合計	9,781	100.0	10,051	100.0	+270
負債合計	4,377	44.8	5,253	52.3	+875
純資産合計	5,403	55.2	4,798	47.7	△605
負債・純資産合計	9,781	100.0	10,051	100.0	+270

第57期配当

▶ 1株当たり配当金

(円)



	中間	期末	年間
第57期	246	342	588

配当総額	連結配当性向
922億円	50.2%

第58期 業績見通し

2020年 事業環境（2020年6月時点での見方）

▶ 半導体前工程製造装置(WFE)*1の設備投資

CY2020の投資は、前年比10%程度の増加を想定
マクロ経済の動向に注視は必要だが、足元の引き合いは堅調
過去最高のWFE市場規模になると予測

▶ FPD製造装置 TFTアレイ工程*2向け設備投資

TV向け大型パネル投資は継続。モバイル向け有機ELディスプレイ投資が回復
CY2020は前年比15%程度の成長を期待

*1 半導体前工程製造装置（WFE; Wafer fab equipment）：半導体製造工程には、ウェーハ状態で回路形成・検査をする前工程と、そのウェーハをチップごとに切断し、組み立て・検査をする後工程があります。半導体前工程製造装置は、この前工程で使用される製造装置です。また半導体前工程製造装置は、ウェーハレベルパッケージング用の装置を含んでいます。

*2 TFTアレイ工程：ディスプレイを駆動する電気回路機能を持つ基板を製造する工程

第58期 連結業績見通し

	上期	下期	通期	前期比
売上高	6,200	6,600	12,800	13.5%
SPE	5,850	6,150	12,000	13.1%
FPD	350	450	800	21.0%
営業利益	1,270 20.5%	1,480 22.4%	2,750 21.5%	15.9% +0.5pts
経常利益	1,270	1,480	2,750	12.2%
税引前利益	1,270	1,480	2,750	12.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	950	1,100	2,050	10.7%

(億円)

SPE: 半導体製造装置 FPD: フラットパネルディスプレイ製造装置

過去最高の売上高を見込む

新型コロナウイルス（COVID-19）への対応

CEOを本部長とする対策本部を設置（2020年1月）

テレワーク、時差出勤など、グループ全体の基本方針策定

工場	クラスター防止と罹患者が出た場合の早期復旧体制の構築 <ul style="list-style-type: none">シフト制、動線分離、リモートワークの併用作業エリアの仕切り、消毒手順・担当者の設置
顧客サポート	<ul style="list-style-type: none">現地従業員にて対応カメラを利用したリモートサポート緊急パーツ：現地法人の一時的な在庫補充

**各施策の徹底・機動的な対応により、
事業活動は計画通り遂行中**

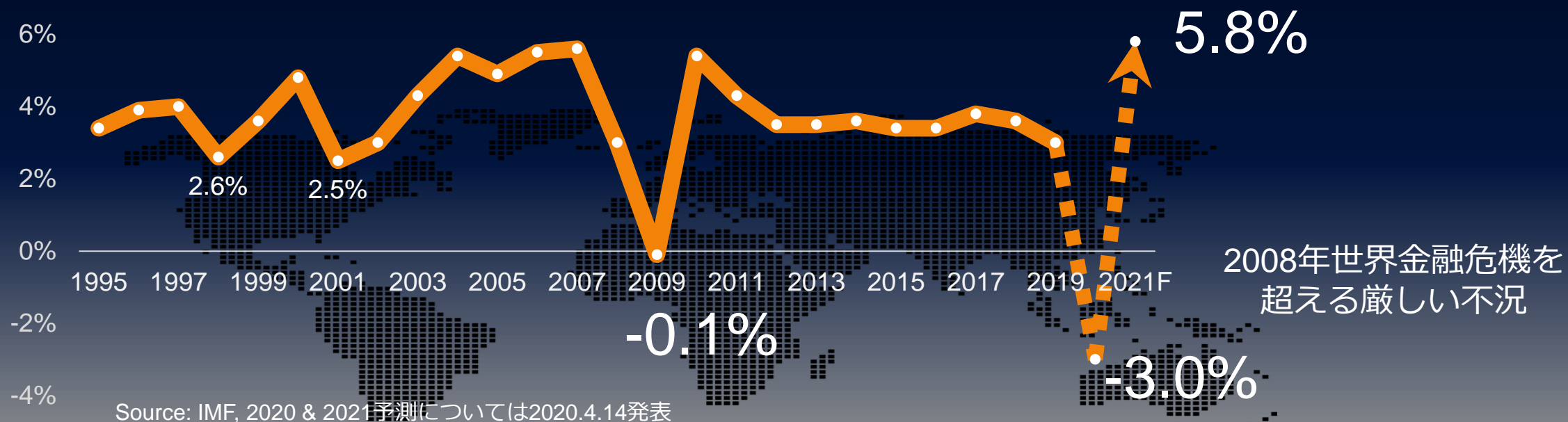
さらなる成長を目指して

1. 事業環境と当社のビジネス
2. 中期経営計画
3. 当社のESG
4. 株主の皆さまへの還元

1. 事業環境と当社のビジネス

新型コロナウイルスの影響

世界GDP成長率 (IMF予測)



世界に未曾有の打撃、
しかし経済は必ずや回復に向かう

イノベーションの歴史

2001
ITバブル崩壊

- SNS
- クラウド
- スマートフォン

2008
世界金融危機

- シェアリングエコノミー
- IoT, ビッグデータ
- AR/VR/MR



さまざまな危機が新たなテクノロジーの普及を加速

芽吹くニューノーマル - 新しい日常

- テレワーク
- オンライン授業
- オンライン診療
- Stay Home! 動画視聴の増加

データ社会への
移行が加速

強くしなやかな社会の構築に向けて、
社会はICT*（情報通信技術）を強力に実装していく

ビッグデータ時代の本格的到来



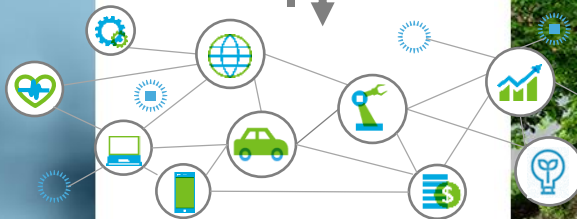
IoT **VR/AR/MR** **AI**
5G **CLOUD**

半導体は“第4次産業革命のコメ”

ビッグデータ時代と半導体

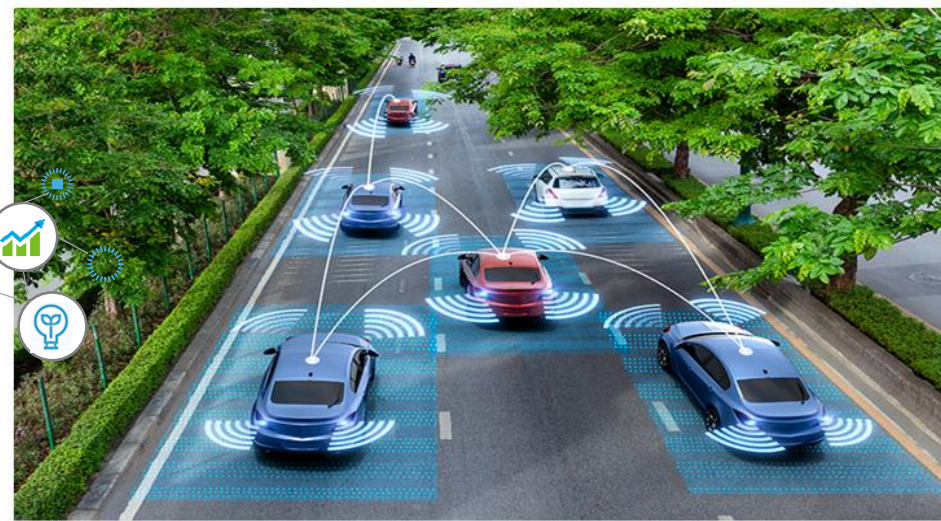
人 ⇄ マシン

人とマシンが情報をやりとり



マシン ⇄ マシン

マシンとマシンが人を介さずに情報をやりとり



**マシン⇄マシンの通信には
さらなる高性能かつ多様な半導体が必要**

とどまるところのない技術要求

半導体

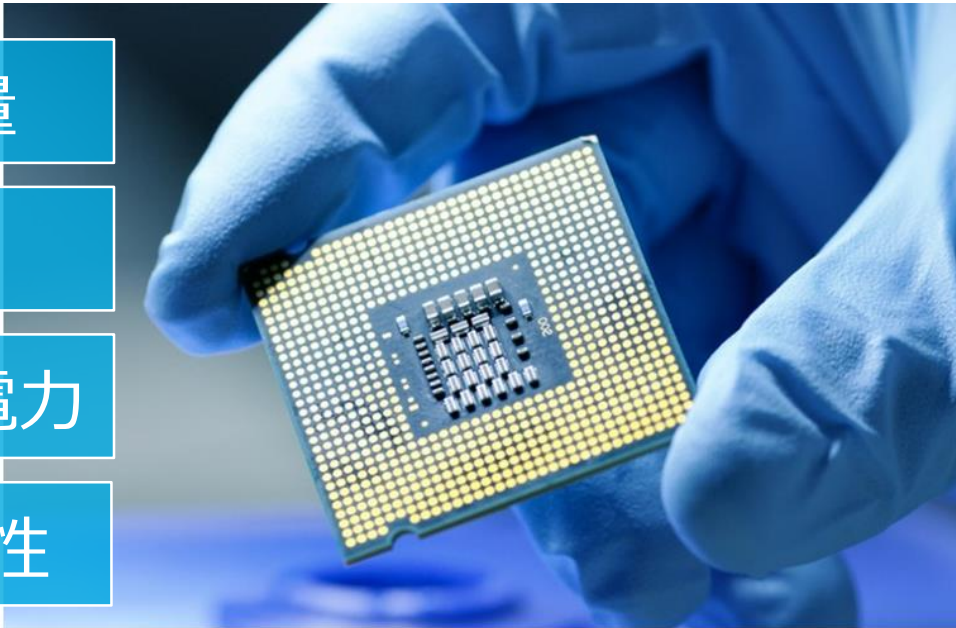
技術要求

大容量

高速

低消費電力

高信頼性



技術要求

高精細

薄い

軽い

曲がる

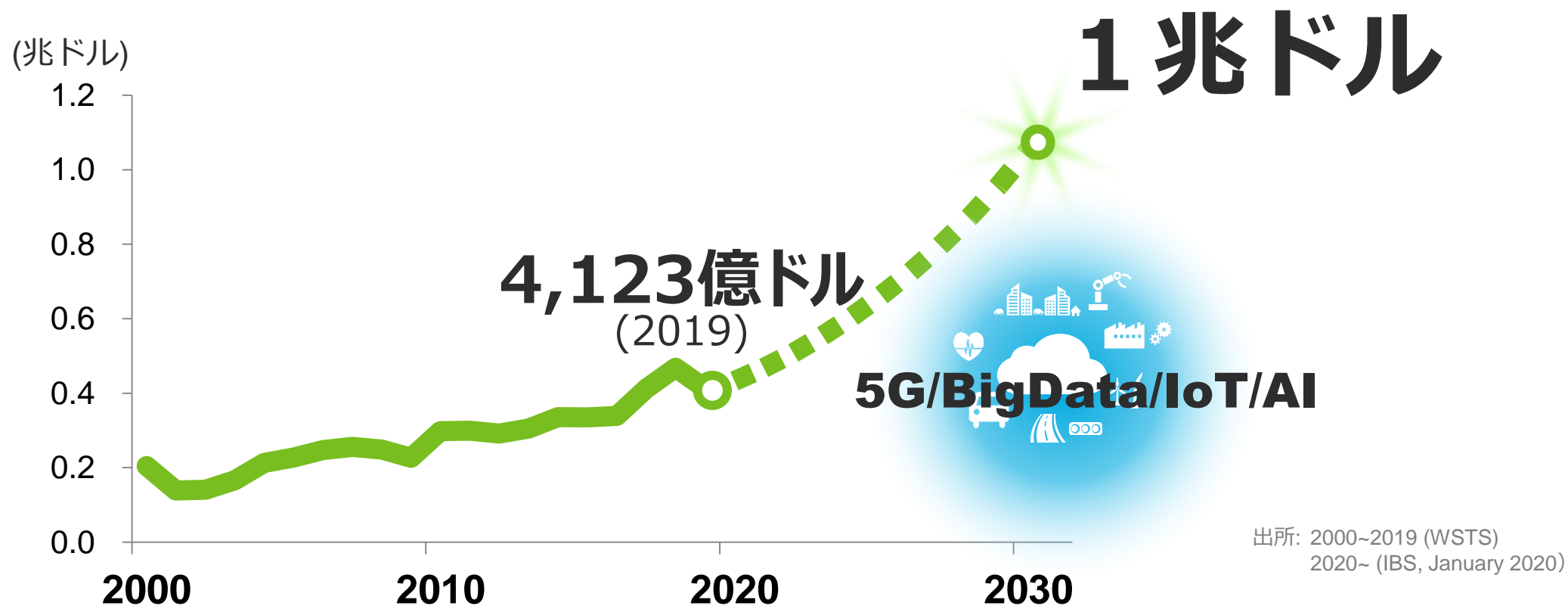
低消費電力

ディスプレイ



データ社会を支えるキーデバイスへの
技術要求はますます高まる

半導体市場展望



今後 10 年で市場は倍以上に成長

2. 中期経営計画

中期経営計画 財務モデル

財務モデル（～4年）			
WFE	550～600億ドル	600～650億ドル	650～700億ドル
売上高	1兆5千億円	1兆7千億円	2兆円
営業利益率	26.5%	28%	>30%
ROE	>30%		

グローバルNo.1 の営業利益率とROEを目指す

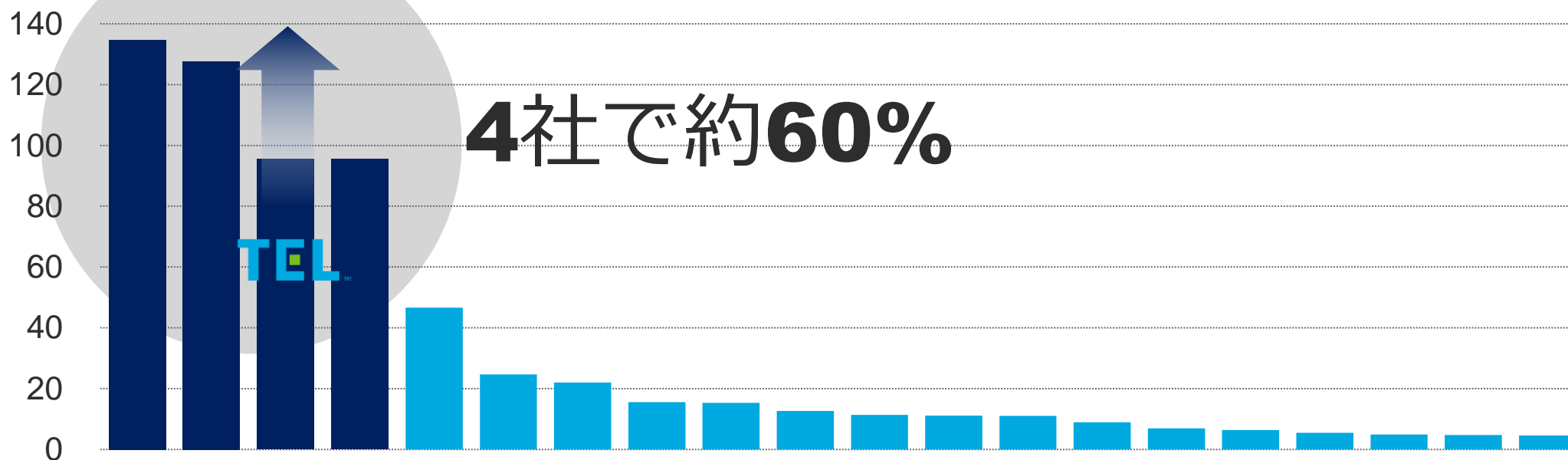
成長に向けた3つの強化項目



**TELはメーカー
ベストプロダクトとベストサービスの継続的 pursuit**

半導体製造装置メーカー 売上高トップ20

2019年 売上高
(億ドル)



Source : VLSI Research, May 2020

高度化する半導体技術を支える
世界トップグループの1社

当社の半導体製造装置事業

2019年大手半導体メーカー6社中4社で

シェア **1位** を獲得



当社推定

当社の製品ラインアップ

主要製品と世界シェア^{*1}



2位 2位 2位 1位 1位 1位 1位 2位 1位 2位 1位



プローバ



洗浄



プラズマ
エッチング



ガスケミカル
エッチング



塗布/現像



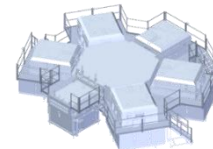
バッチ成膜



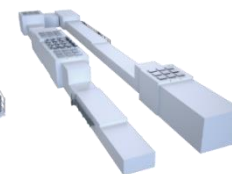
拡散炉



メタル成膜



FPDプラズマ
エッチング/アッシング



FPDコータ/
デベロッパ



FPDインクジェット
描画^{*2}

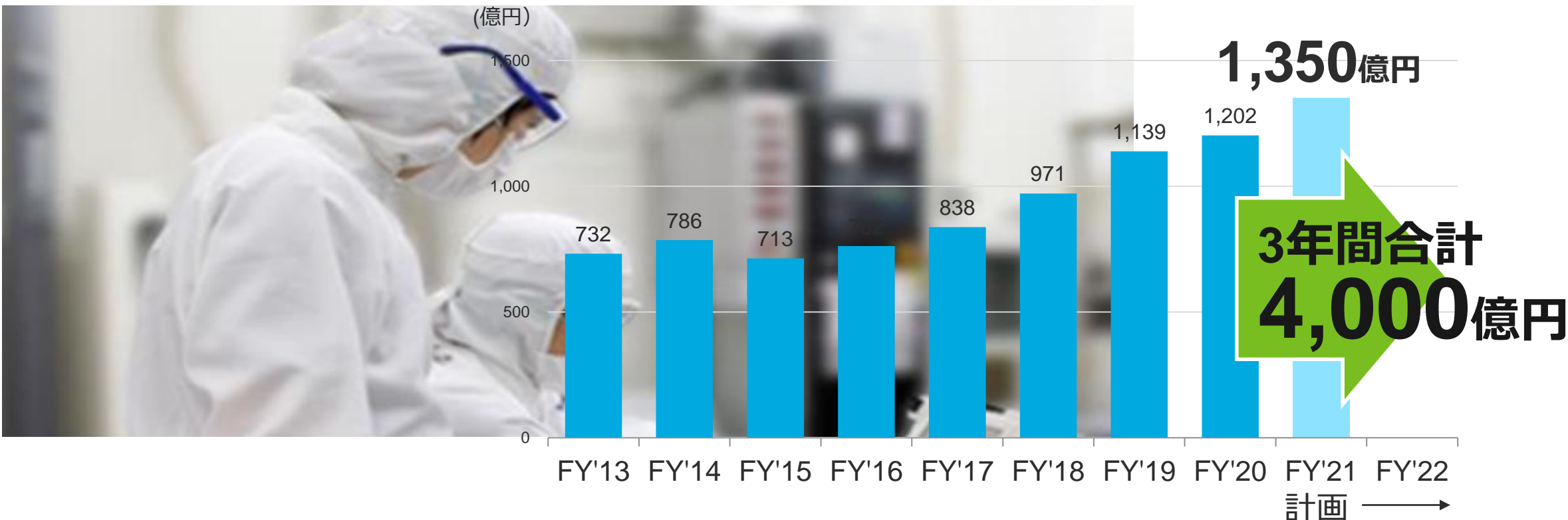
*1: 当社推定

*2: FY'20 RGB塗分け基準

シェア 世界1、2位の製品群

**TELの装置を通らない
半導体 & ディ스플레이は
ほぼない**

研究開発投資



将来の成長を見据え
FY'20から3年間で4,000億円の研究開発投資

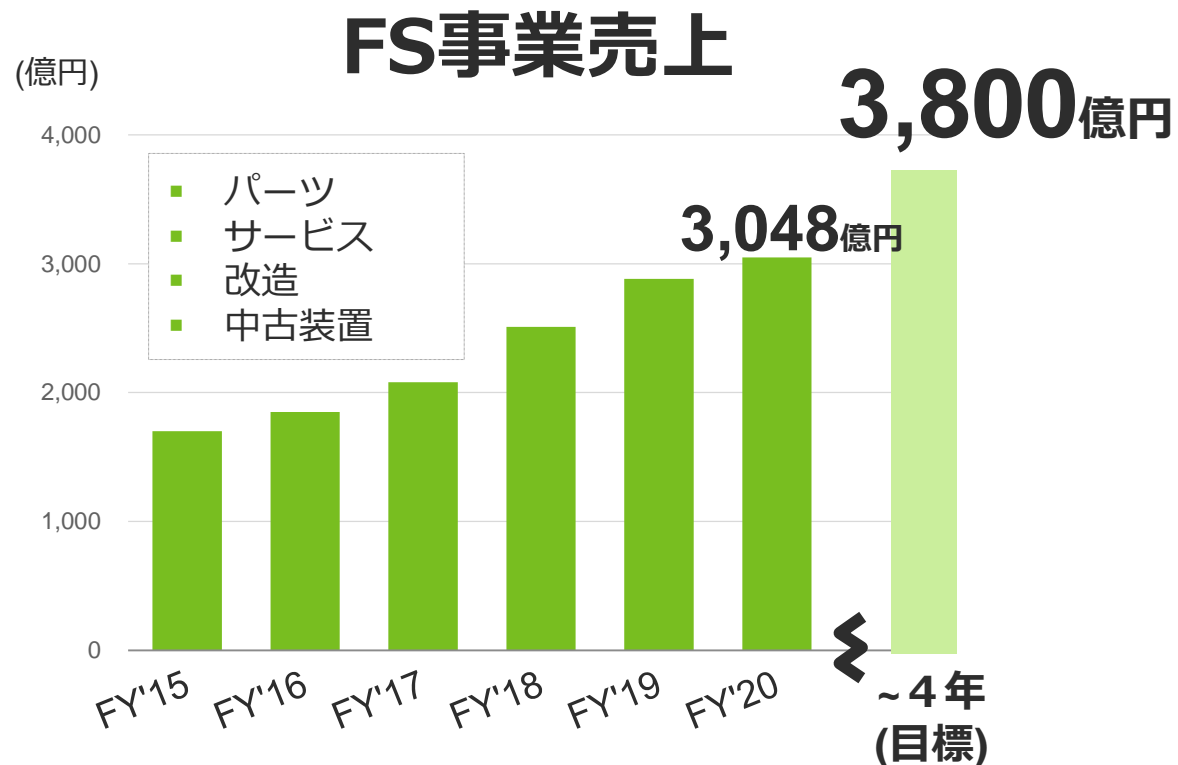
伸びるフィールドソリューション (FS) 事業

年間装置出荷台数

約**4,000**台

世界装置出荷台数 業界最大の

72,000台



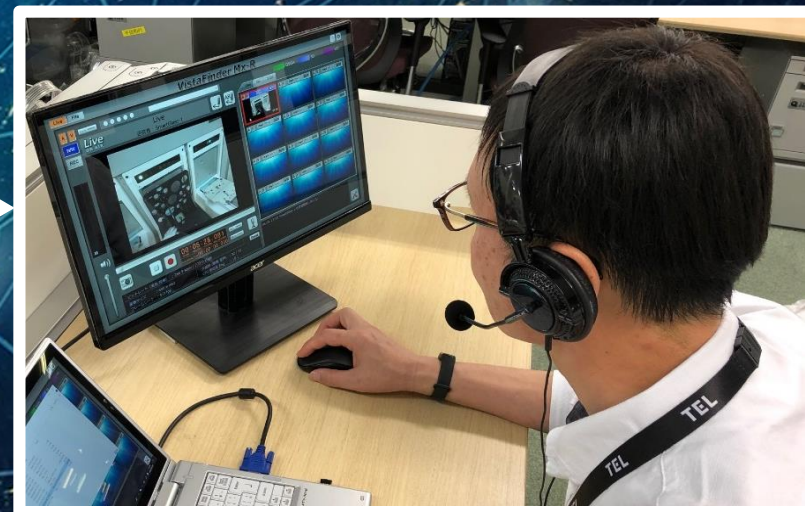
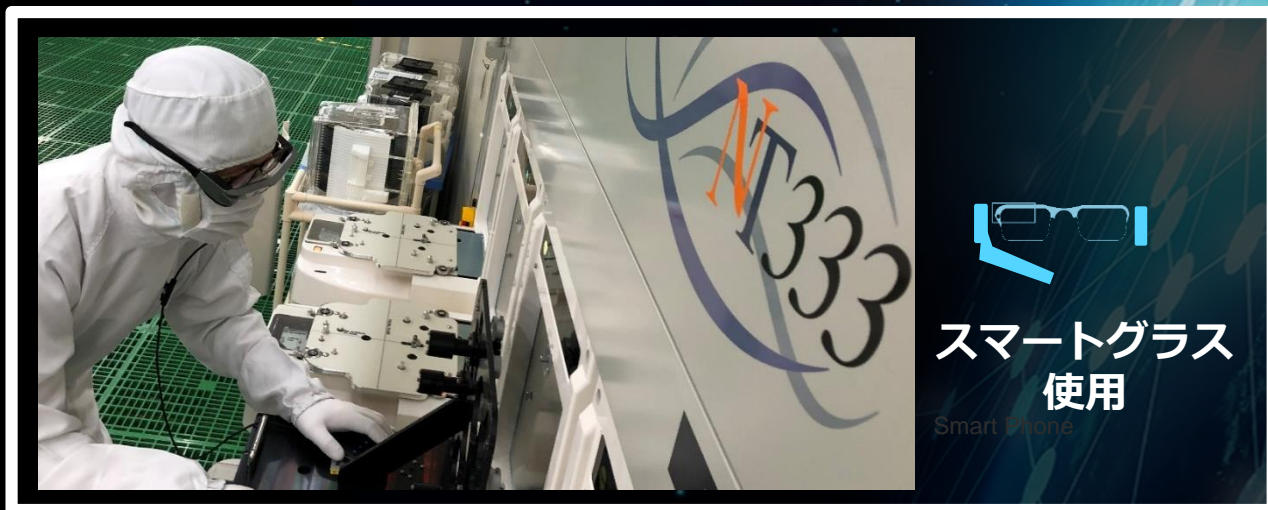
販売した装置が新たな事業機会を生む
高い成長ポテンシャル

アドバンスド・フィールドソリューション

AR*を使った遠隔サポート

顧客のクリーンルーム

当社サポートセンター



ビッグデータ時代の最新技術を利用し、 高効率サービスを強化

AR*:「拡張現実」 スマートグラス越しで見ると、眼前に映像などの情報が出現し、現実世界に情報を付加してくれる技術

目指すはワールドクラスの利益率

当社を取り巻く人をHappyに

3. 当社のESG

(環境・社会・ガバナンス)

当社の基本理念

半導体・FPD製造装置という**基幹事業**において

基本理念

**最先端の技術と確かなサービスで
夢のある社会の発展に貢献します**



企業価値のさらなる向上に向けて

攻め

ワールドクラスの
営業利益率とROE
30%以上達成

&

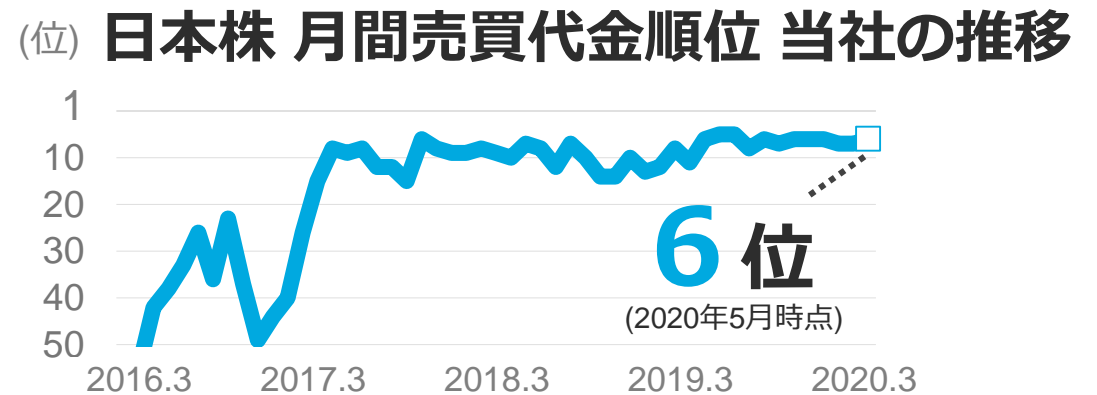
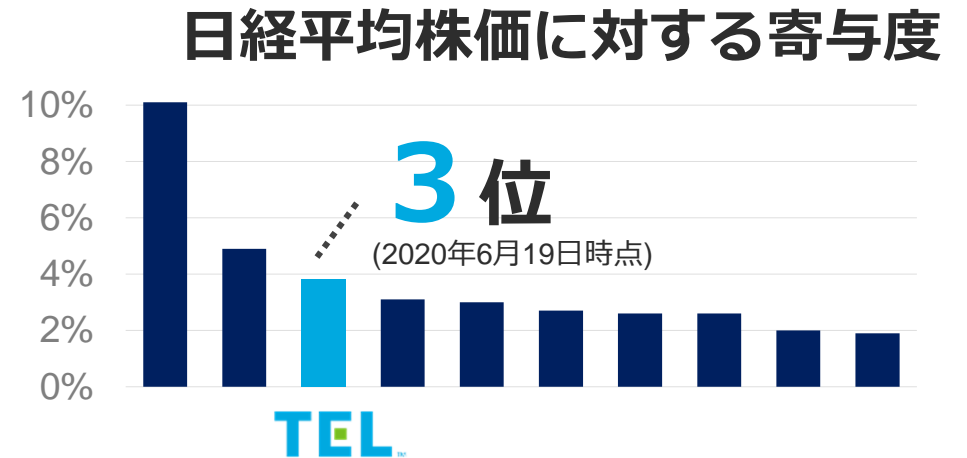
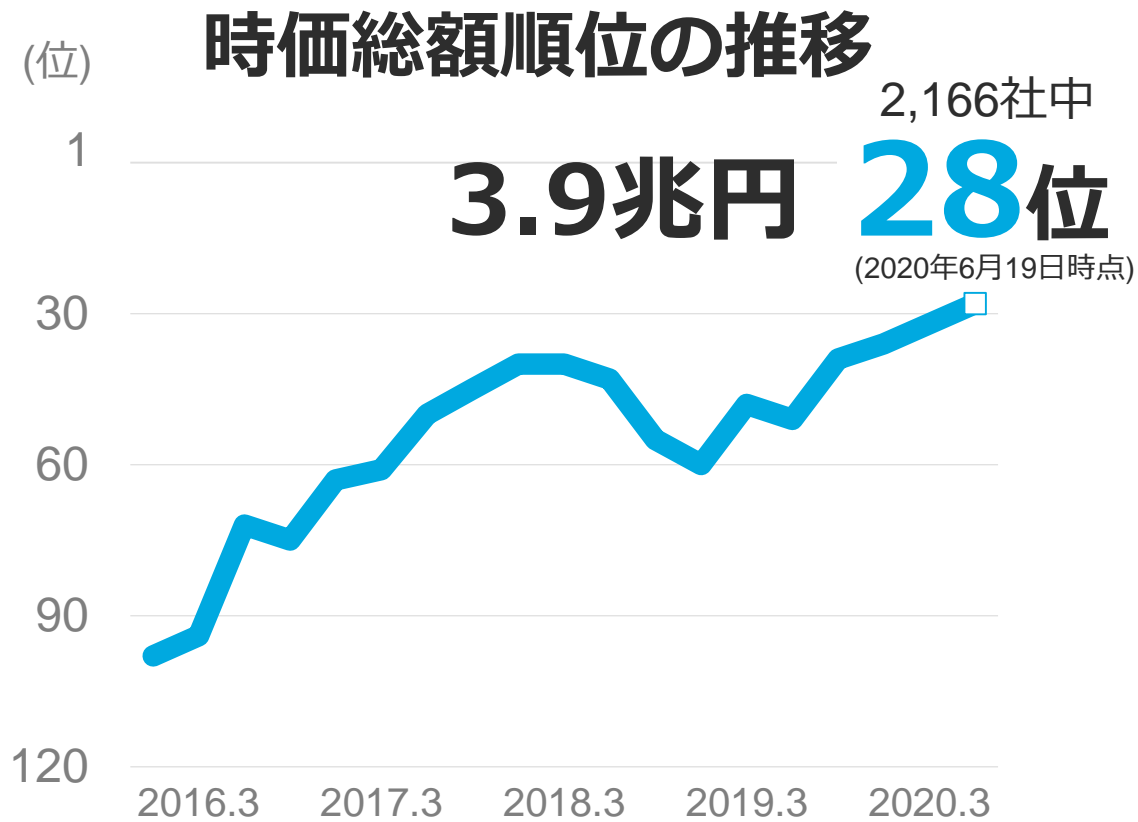
攻め

- 安全
- 品質
- 法令遵守
- エンゲージメント
- リスクマネジメント & セキュリティ



経営のサステナビリティに必要不可欠

株式市場における当社の位置づけ



基本理念の追求を継続し、さらなる上を目指す

2030年に向けた中期環境目標

CO₂排出量 削減目標

装置

30%削減

ウェーハ1枚あたり
(2013年比)

事業所

20%削減

総排出量 (2018年比)

1%削減

事業所ごとのエネルギー
前年度比使用量

環境マネジメントのリーディングカンパニー
として、地球環境の保全に取り組む

当社のESG活動への第三者評価

グローバル



※東京エレクトロン株式会社のMSCI指数への組み入れ、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関係者による東京エレクトロン株式会社の後援、推薦またはプロモーションではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

国内



当社のESGへの取り組みに国内外から高い評価

**当社が果たすべき 社会的な
使命と責任は
未来に向けさらに高まる！**

4. 株主の皆さまへの還元

還元に関する基本的な考え方

革新的技術力・独創的提案力で付加価値創出



利益の追求・企業価値の向上



ステークホルダーへの適切な還元

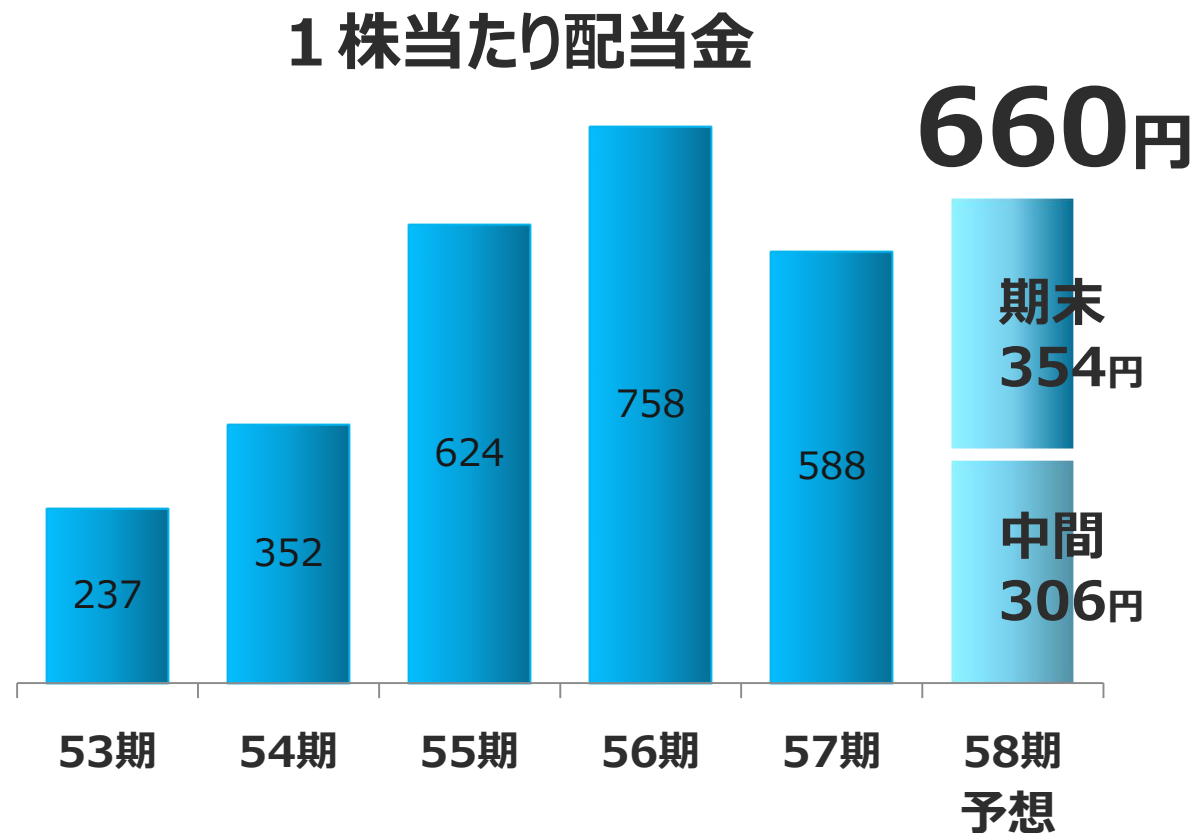
配当政策

連結配当性向：50%

但し、1株当たり年間配当金150円を下回らない

2期連続して当期利益を生まなかった場合は、配当金の見直しを検討する

第58期 配当金予想



1株当たり配当 660円を予定

**今後一層の株主価値向上に
取り組んでまいります**

決議事項

1. 取締役 11名選任の件
2. 監査役 2名選任の件
3. 第57期取締役賞与金支給の件
4. 当社取締役に対し株式報酬として新株予約権を発行する件
5. 当社及び当社子会社の役員等に対し株式報酬として新株予約権を発行する件
6. 社外取締役に対する株式報酬の額及び内容決定の件

第1号議案

取締役 11名選任の件

第1号議案 取締役11名選任の件

<取締役候補者氏名>

- | | | | | | |
|----|------------------------|-----------------------|-----|-----------------------|-----------------------|
| 1. | ^{つねいし}
常石 | ^{てつお}
哲男 | 8. | ^{みたの}
三田野 | ^{よしのぶ}
好伸 |
| 2. | ^{かわい}
河合 | ^{としき}
利樹 | 9. | チャールズ・デイトマース・レイク二世 | |
| 3. | ^{ささき}
佐々木 | ^{さだお}
貞夫 | 10. | ^{ささき}
佐々木 | ^{みちお}
道夫 |
| 4. | ^{ぬのかわ}
布川 | ^{よしかず}
好一 | 11. | ^{えだ}
江田 | ^{まきこ}
麻季子 |
| 5. | ^{ながくぼ}
長久保 | ^{たつや}
達也 | | | |
| 6. | ^{すのはら}
春原 | ^{きよし}
清 | | | |
| 7. | ^{いけだ}
池田 | ^{せいすう}
世崇 | | | |

注) チャールズ・デイトマース・レイク二世氏、佐々木道夫氏及び江田麻季子氏については、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者であります。

第2号議案

監査役 2名選任の件

第2号議案 監査役2名選任の件 ＜監査役候補者氏名＞

1. ^{はま}濱 ^{まさたか}正孝(新任)
2. ^{みうら}三浦 ^{りょうた}亮太(新任)

注1) 濱正孝氏及び三浦亮太氏を監査役候補者とする件につきましては、監査役会の同意を得ております。

注2) 濱正孝氏及び三浦亮太氏については、会社法第2条第16号に定める社外監査役候補者であります。

報酬構成と付議議案の関係について

	固定基本報酬	年次業績連動報酬		中期業績連動報酬	非業績連動報酬
	現金	現金賞与	株式報酬型 ストック オプション	パフォーマンスシェア (株式報酬)	リストラクテッド・ ストック・ユニット (株式報酬)
取締役 (社外取締役を除く)	第48期定時株主総会 においてご承認	第3号議案	第4号議案	第55期定時株主総会 においてご承認	—
社外取締役	第56期定時株主総会 においてご承認	第57期から 廃止	—	—	第6号議案
監査役	第48期定時株主総会 においてご承認	—	—	—	—
当社及び当社 子会社の役員等			第5号議案		

第3号議案

第57期取締役賞与金 支給の件

第3号議案 第57期取締役賞与金支給の件

第57期取締役賞与金	
対象者	第57期末日時点在籍の 社外取締役3名を除く取締役8名
報酬額	総額 11億3,750万円

第4号議案

当社取締役に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）	
対象者	本総会で選任される当社取締役 （社外取締役を除く） ※対象者は8名
報酬総額	総額 11億3,750万円の範囲内

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）の内容					
新株予約権の総数	<table border="0"> <tr> <td>新株予約権数</td> <td>579個（上限）</td> </tr> <tr> <td>当社普通株式</td> <td>57,900株（上限）</td> </tr> </table>	新株予約権数	579個（上限）	当社普通株式	57,900株（上限）
新株予約権数	579個（上限）				
当社普通株式	57,900株（上限）				
新株予約権の発行価額	無償				
1株当たりの払込金額	1円				
権利行使期間	<p>3年間の権利行使制限期間を設定 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日まで</p>				
行使条件	<p>① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください</p>				

第5号議案

当社及び当社子会社の
役員等に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第5号議案 当社及び当社子会社の役員等に対し 株式報酬として新株予約権を発行する件

株式報酬（ストックオプション）の内容	
対象者	<p>当社執行役員、当社幹部社員 子会社取締役、子会社執行役員、子会社幹部社員 ※対象者は91名</p>
新株予約権の総数	<p>新株予約権数 855個（上限） 当社普通株式 85,500株（上限）</p>
新株予約権の発行価額	無償
1株当たりの払込金額	1円
権利行使期間	<p>3年間の権利行使制限期間を設定 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日まで</p>
行使条件	<p>① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください</p>

第6号議案

社外取締役に対する株式報酬の額 及び内容決定の件

第6号議案 社外取締役に対する株式報酬の額 及び内容決定の件

社外取締役に対する株式報酬の内容

対象者	社外取締役 ※対象者は3名
株式取得のため拠出する 金銭上限額	5,000万円（対象期間ごと）
交付等がおこなわれる株式等の 数の上限	5,000株（対象期間ごと）
株式等の交付時期	対象期間（3事業年度）終了後 ※対象期間終了前に退任（死亡含む）した場合はその時点
株式取得・交付方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 当社株式を当社または株式市場から取得 ② 対象期間中にポイントを付与 ③ ポイント数に相当する当社株式を交付 ④ その他の詳細は、お手元の招集ご通知をご参照ください

※今回の制度変更に伴い、第57期分から本制度を遡及して適用いたします。

これにより、第58期（2021年3月期）に設定される信託に限り、第58期分に加え、第57期分も含まれるため、その上限を6,000万円、6,000株といたします。